

長かった緊急事態宣言が解除されましたが、また延防止とかですつきりとしない毎日です。しかしながら徐々にですが普段の生活状態に戻りつつあります。今月末には、東京オリンピックが開催されます。が、観客の入場は制限される見込みですので、テレビ観戦が主体とならざるを得ないです。

分所月次祭での直会も様子をみて、再開の時期を考えたいと思います。直会は祭典の一部で重要な催しであることを中断する中で痛感した次第です。皆様とのご歓談を楽しみに、一日も早く通常の祭典を再開し大勢の皆様と一緒に参拝ができる日をお待ちしています。

三河本苑の事務局員の募集をしていますので、「奉仕の可能な方はご連絡ください。**8月より、月曜水曜土曜**の週4日本苑駐在となります。

三代様の思い出

高木 敏彦

自分が生きてきたこれまでの人生のうちで三代様にご面会できたのは何回あつただろうか。代のお正月に初めての本部修行で亀岡に行つた時。修行者との教主様面会が朝陽館の和室であった。修行者のみんなは教主様との面会といふことで緊張して待機していた。その時、突然修行者が座つている後ろの襖を開いたおばあさんが「あつすみません!間違えた」といつ一度引つ込み再び入つてこられた人が三代教主様だった。そのざうくばらんな対応で緊張が解け

てみんな笑い顔でご面会をした。気さくで庶民的な三代様の人柄にみんな魅了された。(昭和三六年 三代様五九歳)

一回目は一九歳の浪人の時に迎えた青年祭での野点茶席。天恩郷の松林にしつらえたお茶席に三代様がご入席されて若輩者の私がお点前をして一服差し上げた。緊張していた私を優しい眼で見守つて頂いた。何かおつしやられたが残念ながら記憶はない。(昭和四六年 三代様六九歳)

三回目は梅松館のお茶室で女房と結婚前に伺いお茶を頂いた。その時、女房を見て「若い人はいいわねえ。年が寄ると手のしわが隠せなくなる。それと、口元がゆるんでくる」と御自分の手を隠しながら恥ずかしそうにされて笑われた。(昭和五二年 三代様七五歳)

最後は、九月二三日の秋分の日。金原さんよりお亡くなりになつたという連絡を受け、朝陽館でのお別れの挨拶をと、豪雨の中車を飛ばして名古屋から走つた。長女の香春、次女のさやかの名前を三代様からご命名頂いたこともあり、子供たちも一緒にお別れのご挨拶をした。きりつとされたご尊顔だった。(平成二年享年八八歳)

主な行事予定

七月四日(日) 午前一〇時より

三河本苑臨時総代会

七月一〇日(土)

出雲火の用120周年記念大本出雲歌祭り

七月一一日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第三班

七月一八日(日) 午前十時より

三河本苑月次祭

七月二四日(土) 午前十一時より

三河本苑神の家 上棟祭 代表者による

八月七日(土) 参拝

瑞生大祭

八月八日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第一班

八月二十二日(日) 午前十時より

三河本苑月次祭

亀岡万祥殿にて
萩原将矢7月16日
中山恵子7月15日
藤浦茂夫7月13日
松村裕子7月11日
松村好久7月14日

坂野敦也7月3日
久野明典7月16日
斎藤乃7月17日
三浦やよ7月28日
石川勝久7月29日
大出口国直靈主命守りたまへ幸はへたまへ
惟神靈幸倍ませ

7月の誕生者
おめでとうございます!